

令和4年度に改訂された「生徒指導提要」では、不登校支援の目標は「児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指せるように支援を行うこと」と記されています。不登校は、多様な要因・背景により結果として不登校になっているということであり、個に応じた多様な社会的自立に向けて目標の幅を広げた支援を行うことが必要になります。本分科会では、大阪府高等学校教育支援センターと連携して生徒を支援した高等学校の取り組みを紹介するとともに、不登校生徒支援の可能性について、大学教授に御講演いただきます。



報告

大阪府高等学校教育支援センターにおける不登校生徒支援

大阪府高等学校教育支援センターにおけるこれまでの不登校生徒支援の取り組み等について報告します。

実践発表

大阪府高等学校教育支援センターと連携した生徒支援

大阪府教育センター附属高等学校 指導教諭 池田 径
府立八尾北高等学校 校長 山下 尚亮 / 教頭 山口 勝久

学習支援の方法、生徒の自己有用感や自己効力感の高め方、学校復帰のための校内における条件整備等、高等学校における不登校生徒支援の取り組みを発表します。

講演

不登校生徒支援の可能性

大阪信愛学院大学 教授 齊藤 誠一

子どもたちが主体的に取り組める体験活動や個別カウンセリング等、不登校の状態にある子どもへの実践的な取り組みを通して得られた知見をもとに、不登校生徒支援の可能性について御講演いただきます。